

第16回スクリーニング学研究会 テクニカルセミナーHP 掲載原稿

株式会社グライナー・ジャパン マイクロプレートの種類を知り、実験に適したプレートを見つける

弊社でご用意しているマイクロプレートはアッセイ用プレート、細胞培養用プレート、ストレージプレートがございます。プレートの色、素材、表面処理の組み合わせから

- ・吸光度測定、発光測定、蛍光測定
- ・ELISA
- ・細胞の接着培養、浮遊培養、スフェロイド培養
- ・細胞の共培養、遊走
- ・化合物の保存、DNA・RNA の保存
- ・バクテリアや酵母の培養



などにご使用頂けます。実験に適したプレートが見つかるよう弊社でご用意しているマイクロプレートをご案内させていただきます。

問い合わせ先: 03-5843-9159, Sales.jp@gbo.com, Yusuke.Fujimoto@gbo.com

Science Aid 株式会社 AI エージェント実演: スクリーニング研究のための論文・データベース活用術

2025年、Google、FutureHouse、スタンフォード大学等から科学研究を自動化するAI Scientist が続々登場し、研究開発の競争環境が一変しつつあります。しかし実業務において「何が出来るか」「自社データが使えるか」「セキュリティは大丈夫か」といった導入判断に不可欠な情報が不足しており、意思決定に悩むケースが散見されます。

弊社は創業以来培った論文・データベース活用 AI 技術を基に、大手企業や学術機関向けに研究計画、ターゲット探索、文献調査、予算計画等、多様な領域の AI エージェントを開発・導入してきました。

本セミナーでは、「AI エージェントとは何か」といった基礎的な内容から、最新の AI Scientist の事例紹介、AI エージェント技術を用いた論文・データベース活用の実演をご覧ください。PubMed、ChEMBL、PubChem など複数のデータソースを横断的に検索し、実験プロトコルの比較、類似化合物の活性情報収集、最新研究動向の把握などを、AI エージェントがリアルタイムで実行する様子をデモンストレーションします。

また、実際の導入事例から得られた知見として、「既存の研究ワークフローへの組み込み方」「セキュリティを確保しながら自社データを活用する方法」「AI の出力結

果の検証と解釈のポイント」など、実務に直結する導入戦略についても解説します。AI エージェントの現時点での実力と限界を正直にお伝えしながら、研究者の皆様が明日から活用できる実践的な知識を提供いたします。

参加特典：デモを再現可能な資料の配布

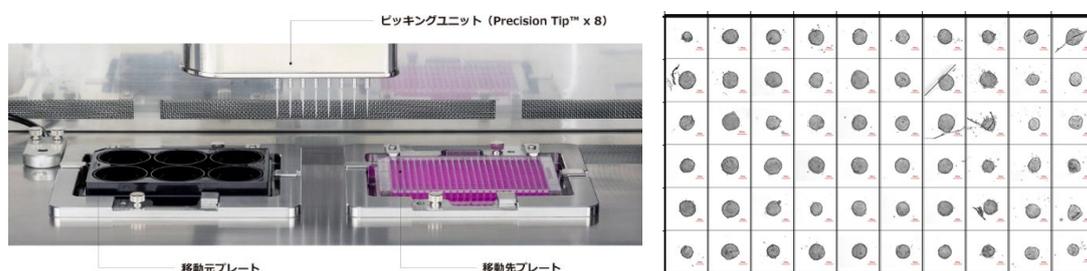
問い合わせ先：<https://science-aid.com/contact>

ヤマハ発動機株式会社

CELL HANDLER™で拓く、オルガノイド評価系の標準化とピッキング技術の最前線

オルガノイドは生体模倣性に優れる一方、サイズや形状のばらつきといった不均質性がスクリーニング結果の変動要因となり、評価系の標準化が求められています。本セミナーでは、CELL HANDLER™の高精度なイメージングとピッキング機能を活用し、均質なアッセイプレートを作製するためのアプローチをご紹介します。

さらに、MPS プレートへの安定的なサンプルロードをはじめ、ゲノム編集細胞株の樹立、3D サンプルの透明化、トランスクリプトーム解析での活用など、細胞ピッキングの多様な用途についても提案します。いずれも共同研究先での活用例を交え、具体的な事例としてご紹介いたします。



問い合わせ先：yhc@yamaha-motor.co.jp

横河電機株式会社

【ハンズオントレーニング】画像解析ソフトウェア CellPathfinder で画像解析の自動化を学ぶ

高画像解析をもっと便利にする横河電機のソフトウェア『CellPathfinder』のハンズオントレーニングを開催いたします。

【手作業の細胞カウント】をされている方や、【ImageJ などのマクロ機能】を使われている方、日常的に行うその業務を、より便利に、自動化してみませんか？本ハンズオンでは、実際の解析の様子を、手作業のケースや、ImageJ のマクロ機能を使ったケースと比較してご紹介いたします。

初心者の方も熟練者の方も、誰が使っても簡単に、そして今までより多くのデータをスピーディに解析していただけます。

また、従来は難しかった明視野画像などの定量が直感的な操作だけで実現できる、『Deep Learning』機能もご紹介します。

『Deep Learning』は、画像解析の専門知識がない方でも簡単に、細胞認識や細胞カウント、細胞分類などができる強力なツールです。

問い合わせ先:lsc_news@cs.jp.yokogawa.com

ローツェライフサイエンス株式会社

Global Laboratory Automation Trend & AI for Drug Discovery

演 者: David Dambman ・ LabSync Inc. Principal Consultant

講演内容: LabSync 社の展開するコンサルテーション事業を通し米国及び欧州を中心とするラボラトリーオートメーション: メリット、課題、そして将来のトレンドについて講演予定です。



概 要: ラボラトリーオートメーションは、効率性、精度、そして再現性を向上させることで、科学研究と発見のあり方を大きく変えつつあります。本講演では、ワークフローの合理化やデータ整合性の向上といった自動化の主なメリットを考察するとともに、統合の複雑さ、コスト、ユーザーへの浸透といった一般的な課題への対応についても考察します。また、ラボオーケストレーション、デジタルツイン、AI 統合、自律移動ロボットといった、次世代の自動化ラボラトリーを推進する現在のトレンドと新たなトレンドについても考察します。

David Dambman 氏は弊社が取り扱っている Biosero 社製 GBG の生みの親で、同社退職後これまでの豊富経験を基に LabSync 社を立ち上げ数多くの製薬企業様の自動化プロジェクトを LabSync 製アプリケーションと共にソリューションを提供しています。

ローツェライフサイエンスは LabSync 社創業以来パートナーリング契約を結び将来に渡って同社の革新的なアプリケーションも日本のお客様へご提供して参ります。

問い合わせ先:sales@rorze-ls.com

(担当: 営業部 田中健之)